

地方独立行政法人府中市病院機構
平成24年度業務実績に関する評価

平成25年7月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

はじめに

本評価委員会は、「地方独立行政法人府中市病院機構の業務実績に関する評価の基準」に基づき、地方独立行政法人府中市病院機構（以下「法人」という。）の平成24年度業務実績に関する評価を行った。

評価については、年度計画に定められた事項ごとに行う「項目別評価」と、業務実績全体の進捗状況について行う「全体評価」を行った。項目別評価では、法人による自己評価を基に、評価委員相互で意見交換を行い、自己評価の妥当性や年度計画の進捗状況について、小項目評価及び大項目評価をまとめた。

また、全体評価では、項目別評価の結果も踏まえ、年度計画及び中期計画の進捗状況に加え、法人設立を契機とした病院改革の取り組み等について、総合的な評価を行った。

この評価を踏まえ、法人においては、引き続き効率的で効果的な病院運営に努め、高齢化が進展する地域に必要な医療の提供に努められたい。

第1 全体評価

法人の平成24年度の業務実績については、項目別評価を踏まえると、年度計画に従って、まずは順調に進んでいると評価する。

病院改革の取り組みとしては、法人運営における自律性・機動性の発揮に向けて、理事会、幹部会議及び経営戦略会議等の各種会議の定例化や、業務改善発表会等が実施されている。

病院運営の透明性の確保についても、監事による監査の着実な実施、職員間での経営状況の共有に加え、市広報紙を活用して広く市民に経営結果を公表するなど、積極的な取り組みがなされている。また、地域に開かれた病院とするため、市広報紙での職員紹介に加え、市の行事や地域の祭りへの参加等に取り組まれている。

病院間の連携の促進に向けても、法人が運営する病院相互の医師による診療応援をはじめ、近隣病院との会合の開催や、共同での医学生・研修医対象の合同説明会への出展に取り組まれているほかにも、地域の開業医による病院での外来診療も始まっている。

こうした法人の努力により、経常収支比率をはじめとした年度計画の評価指標は概ね達成されており、財務内容の改善が図られていることは評価すべきであるが、一方で、課題や改善を要する事項も指摘しておく必要がある。

まずは、職員個人の努力が適切に評価され、働きがいを感じることが出来る人事給与制度の整備、地域から愛される病院づくりに向けた情報発信の工夫、そして関係各所との協力・連携による恒久性のある医師及び医療従事者確保の仕組みづくり等については課題を残しており、今後の積極的な努力を求めたい。

また、高齢化が進展する地域住民の社会生活を「支える医療」の実践については、その緒に就いたばかりであり、未だ明確な成果は見えていない。しかしながら、法人の掲げる方針は地域の需要に見合うものであることから、今後に期待したい。

そして、特に改善を求める事項として、市からの繰入に過度に頼らない、強靱な経営基盤の構築がある。法人自身の評価にもあるように、法人の黒字決算は市からの繰入によるものである。中でも、府中北市民病院の経営状況は厳しく、財務内容の抜本的改善への取り組みが望まれる。

いずれにしても、平成24年度は法人設立1年目であり、当該年度計画は、まさに中期計画達成の試金石であった。「支える医療」の提供に向けて、法人においては、適切に年度計画を策定し、確実な実施を図るべく努力することが肝要である。

第2 項目別評価

1 大項目評価（集計結果は別紙を参照）

平成24年度年度計画の大項目の評価結果は、S評価からD評価までの5段階での評価において、総じてA評価であり、詳細には次のとおりである。

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

平均2.8点 A評価

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

平均2.8点 A評価

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

平均3.0点 A評価

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

平均3.0点 A評価

(5) 予算、収支計画及び資金計画

※ 本項目は、財務諸表の確認のみ

(6) 短期借入金の限度額

平均3.0点 A評価

(7) 剰余金の使途

平均3.0点 A評価

2 小項目評価

別冊「平成24年度の業務実績に関する評価結果【小項目評価】」を参照

【大項目評価に係る小項目評価の集計結果】

大 項 目							大項目評価 (平均点)
中 項 目	小項目数	評価5 (5点)	評価4 (4点)	評価3 (3点)	評価2 (2点)	評価1 (1点)	
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置							A評価
(1) 提供する医療の内容	4			4			
(2) 診療機能の確保	2			1	1		
(3) 地域医療連携の推進	1			1			
(4) 医師及び医療従事者の確保	2			1	1		
(5) 地域住民とともに守る病院づくり	3			2	1		
小 計	12項目			27点	6点		2.8点
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置							A評価
(1) 組織・機構の整備	1			1			
(2) 職員教育体制の充実	1			1			
(3) 事務職員の育成	1			1			
(4) 働きやすい職場環境の整備	1				1		
小 計	4項目			9点	2点		2.8点
3 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置							A評価
(1) 経営基盤の強化	1			1			
(2) 収益の確保及び費用の節減	1			1			
小 計	2項目			6点			3.0点
4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置							A評価
(1) 病院の建て替えへの対応	1			1			
(2) 医療機器などの更新	1			1			
小 計	2項目			6点			3.0点
5 予算、収支計画及び資金計画							—
※ 財務諸表の確認							
6 短期借入金の限度額							A評価
—	1			1			
小 計	1項目			3点			3.0点
7 剰余金の使途							A評価
—	1			1			
小 計	1項目			3点			3.0点

地方独立行政法人府中市病院機構
平成24年度の業務実績に関する評価結果
【小項目評価】

平成25年7月

地方独立行政法人府中市病院機構評価委員会

府中市病院機構の概要

1 現況

(1) 法人名

地方独立行政法人府中市病院機構

(2) 法人の所在地

広島県府中市鶴飼町 555 番地 3

(3) 法人役員

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

役職	名 前	備 考
理事長	多田 敦彦	府中市民病院 院長
理事	横矢 仁	府中北市民病院 院長
理事	北村 智樹	府中市民病院 副院長
理事	近森 正和	府中市民病院 副院長
理事	長谷川 和子	府中市民病院 総看護師長
理事	寺岡 謙	社会医療法人社団陽正会事業本部長
監事	浅田 勝彦	公認会計士・税理士
監事	岸田 光弘	弁護士

(4) 設置・運営する病院

別表のとおり

(5) 職員数

(平成 25 年 3 月 31 日現在)

内 訳	常勤職員	臨時職員	合計
府中市民病院	169	40	209
府中北市民病院	73	39	112
法人合計	242	79	321

2 府中市病院機構の基本的な目標

法人は、府中市の地域医療を守り育てる基本条例の理念である、市民の健康と生命を守るかけがえのない地域医療を、将来にわたって持続的に確保することを基本に置き、府中市地域医療再生計画の具体化にむけて、その推進役を果たします。

法人が目指す医療は、市民が安心して暮らすための健康を維持し、市民の生活の質を高めるための「支える医療」です。そのため、保健・医療・福祉の連携ネットワークづくりや、医療と介護の日常的な連携体制の構築を図ります。

(別表)

病 院 名	府中市民病院	府中北市民病院
主な役割・機能	<u>二次救急輪番制病院</u> ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設・日本呼吸器学会関連施設・日本透析医学会教育関連施設 ・日本アレルギー学会準教育施設 <u>訪問看護ステーションあゆみ</u>	<u>救急告示病院</u> ・広島大学病院協力型臨床研修病院・日本消化器病学会関連施設・日本整形外科学会専門医研修施設
所 在 地	府中市鶴飼町 555 番地 3	府中市上下町上下 2101 番地
設 立	平成 24 年 4 月 1 日	平成 24 年 4 月 1 日
病 床 数	150 床 (一般 100 床・療養 50 床)	70 床 (一般 35 床・療養 35 床)
診 療 科 目	内科・外科・整形外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・小児科・泌尿器科・眼科・精神科	内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・リハビリテーション科

全体的な状況

1 法人としての総括と課題

法人設立の初年度は、2 病院の医療機能の維持、収支目標の達成、組織・職員体制の確立など、現状を把握し、中期計画を達成するための課題を再認識する年でした。

2 病院の医療機能については、法人による病院開設時に許可病床の削減（府中市民病院 199→150 床・府中北市民病院 110→70 床）、外科の常勤医師の法人内異動はあったが、2 病院の診療科の変更はなく、常勤医師の連携により診療機能を維持しました。しかし、2 病院間の医師の連携には負担も大きく、法人として 2 病院の方向性を見定めたうえで、常勤医師の招聘に取り組む必要があります。

収支目標の達成については、法人全体では経常収支比率（経常収益/経常費用）101.3%と黒字決算となりました。収益面での目標に対する達成率では、府中市民病院が外来 108.2%、入院 108.4%、府中北市民病院が外来 111.4%、入院 93.9%と、ほぼ目標を達成しました。しかし、費用面では府中市からの繰り入れを除くと、法人全体では給与費比率（給与費/医業収益）が 73.4%、医業収益比率が 86.7%であり、黒字決算は府中市の繰り入れがあって達成できるというのが、法人の財務状況であります。この現状を踏まえ、中期計画で掲げた、経営面においても地方独立行政法人に相応しい自律的な業務運営によって、市民の期待に応える病院運営に努める必要があります。

組織について、初年度は毎月定例で理事会を開催し、2 病院の運営などの重要事項は、理事長を中心に理事会で決定することを確立しました。職員体制については、府中市民病院は法人職員・J A 広島厚生連出向職員・府中市派遣職員で、府中北市民病院は府中市職員から法人への移行職員と派遣職員で病院事業を継続しました。法人設立時の J A 広島厚生連出向職員数は 93 人（H24.4.1）でしたが、新年度は 28 人（H25.4.1）になりました。今後も、法人としての職員体制を確立し、経営戦略に対応した職員配置を進める必要があります。

新年度では、課題の解消に向けて、積極的かつ具体的な取組みを行います。

2 大項目ごとの特記事項

(1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

診療機能については、府中北市民病院において、府中市民病院の院長による呼吸器専門外来を開始し、また、府中市民病院には、府中北市民病院から内科の常勤医師が診療応援に来るなど、医師の連携が始まりました。

府中市民病院では、二次救急輪番制病院として外科の緊急手術に対応する職員体制を整えました。H25.1 月からは、外科の常勤医師が 1 名増の 3 人体制になりました。府中市民病院は、日本透析医学会により岡山大学病院の教育関連施設として新たに認定されました。（H25.4.1～）

(2) 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

毎月の幹部会議において、病院の収支状況を共有することで、職員の経営参加意識と、自主的な経営改善を促す組織風土の醸成に努めました。

府中市民病院では新たな取組みとして、年間を通して各職場における改善の取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。

(3) 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

今年度は、府中市からの繰入金 4 億 9,000 万円により、経営を安定させることができましたが、中期目標の達成には法人独自の経営改革が必要です。

病院としての取組みでは、①医事課職員を積極的に研修会に参加させる、②睡眠時無呼吸症候群の検査を新規開始、③病棟における C S セットの導入、④備品・消耗品・修繕の依頼伝票の取扱い変更を行いました。

(4) その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

府中市民病院の建て替えに着手し、各部署の職員ヒアリングを実施し、設計業務に積極的に関わりました。新病院では、電子カルテを導入する方針を決定しました。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(1) 高齢化に対応した医療

中期目標	高齢者の病気の重症化を防ぎ、在宅における生活の質を高める医療を提供し、さらに終末期における在宅医療にも取り組むこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>地域の実情に即し、地域住民の高齢化に対応した在宅医療を適切に取り入れ、高齢者に多い慢性期の患者に寄り添い、地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。</p>	<p>・地域住民の高齢化に対応した在宅医療に取り組めます。</p> <p>・地域住民の社会生活を「支える医療」に重心を置いた医療を提供します。</p>	<p>【法人】病院と診療所、医療と介護など日常的な連携を図るため、多田理事長が医師会の会議等に積極的に出席、また地域の診療所の医師や介護施設を訪問するなど、顔の見える関係づくりに努めました。</p> <p>【府中】訪問看護ステーションあゆみは、訪問看護・訪問リハビリを継続して実施しました。</p> <p>【府中北】2病院の常勤医師による訪問診療と、訪問看護・訪問リハビリを実施しました。今年度、訪問看護師を1名増員しました。</p> <p>【府中】外来患者と家族を対象に、糖尿病教室を再スタートしました。</p> <p>【府中北】上下地域での健康教育講座や機能回復訓練を実施しました。</p>	3	3	<p>「支える医療」の取り組みは始まったばかりであり、未だ明確な成果は見えないが、今後に期待したい。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(2) 予防医療

中期目標	市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした総合的な予防医療の提供に努めること。																												
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																									
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																								
「支える医療」の一つとして、市の保健事業とも連携し、人間ドックや健康診査をはじめとした、病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。	<p>・市の保健事業と連携し、人間ドックや健康診査を行います。</p> <p>・病気を予防し健康の維持・増進を図るための予防医療の提供に努めます。</p>	<p>【法人】市民病院として人間ドック・特定健診・がん検診を実施しました。また、市の保健課の要請により国保の特定健診・がん検診を追加で受けるなど、積極的に取り組みました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>健診種別</th> <th>前年度</th> <th>24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">府中市民病院</td> <td>人間ドック</td> <td>513</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>8</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>84</td> <td>969</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">府中北市民病院</td> <td>人間ドック</td> <td>87</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>156</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>がん検診</td> <td>459</td> <td>574</td> </tr> </tbody> </table>		健診種別	前年度	24年度	府中市民病院	人間ドック	513	340	特定健診	8	109	がん検診	84	969	府中北市民病院	人間ドック	87	89	特定健診	156	200	がん検診	459	574	3	3	
			健診種別	前年度	24年度																								
府中市民病院	人間ドック	513	340																										
	特定健診	8	109																										
	がん検診	84	969																										
府中北市民病院	人間ドック	87	89																										
	特定健診	156	200																										
	がん検診	459	574																										
<p>【府中】健康管理室に、糖尿病認定看護師を室長として配置し、予防医療の推進体制強化を図りました。</p>																													

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(3) 救急医療への対応

中期目標	地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行うこと。そのため、日常的に地元医師会や消防署と情報交換を行うなどして、救急時の即応体制を培うこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。そのため、救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。	<p>・地域の医療機関と連携・補完し合いながら、急性期患者への速やかな対応を行います。</p> <p>・救急医療に要する経費に対する市からの政策的医療負担金を有効に活用し、病院の体制を整えます。</p>	<p>【法人】府中市民病院は二次救急輪番制病院として、府中北市民病院は救急告示病院として、府中地区の急性期患者の受け入れを行いました。</p> <p>府中地区医師会の休日当番医制では、府中市民病院は、診療所と協力し当番医の減少を補完、府中北市民病院は、年間を通じて上下地域の当番医を担当しました。</p> <p>外科の24時間365日の緊急手術に対応する職員体制を整えました。</p> <p>緊急手術は、今年度28件行いました。また、法人2病院の連携による府中北市民病院からの紹介患者の外科手術は、今年度17件でした。</p>	3	3	法人が運営する両病院が連携することで、市民により良い医療サービスが提供できるようになることが期待できる。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 提供する医療の内容

(4) 災害医療への協力

中期目標	災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供するとともに、防災訓練等にも協力すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。また、市が行う防災訓練等にも積極的に協力します。	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時や感染症の流行時には、行政からの要請に基づき必要な医療を提供します。 ・市が行う防災訓練等に積極的に協力します。 	<p>今年度は、行政からの要請ありませんでした。</p> <p>【府中】府中市の総合防災訓練に、常勤医師（1名）看護師（2名）が参加し、被災患者のトリアージ訓練を行いました。</p> <p>【府中北】市の要請により、上下花火大会の救護班として活動しています。</p>	3	3	

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 診療機能の確保

(1) 診療科目の整備

中期目標	それぞれの診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を行い、地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。	<p>・府中市民病院及び府中北市民病院の診療圏域において、地域の病院、診療所などと適切な役割分担を図ります。</p> <p>・地域全体で、安定的で切れ目のない診療機能を確保し、地域にとって最も効果的な診療科目の整備に努めます。</p>	<p>【法人】今年度は、府中地域の近隣病院との連携の第一歩として、府中市民病院と寺岡記念病院の理事長・院長・副院長・事務長による会合を開催し、情報交換を行いました。今後も継続して会議開催し、府中地区医師会とともに府中地域の医療提供体制について協議します。</p> <p>【府中】H25.4.1～府中地域の福山市新市町で開業する泌尿器科医（ときながクリニック、岡山大学泌尿器科）が、府中市民病院で診療（週1回）を開始することが決定しました。</p> <p>【府中北】黒木整形外科リハビリテーションクリニックの依頼により、MRIの撮影を実施しています。</p>	2	2	<p>地域の病院との連携に加え、地域の開業医が病院の診療を支援するなど、新たな取り組みが実施されている。</p> <p>更なる連携の促進により地域に開かれた病院としてのネットワーク構築が期待できる。</p>

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 診療機能の確保

(2) 小児救急医療及び分娩の再開

中期目標	府中地域に欠けている医療機能として、行政とともにその再開に努力すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
小児救急医療及び分娩の再開については、府中地域だけでなく広域的な連携体制が必要であり、その連携体制の中で2病院が果たすべき役割を検討します。	・広域的な連携体制の中で、2病院が果たすべき役割を検討します。	<p>【法人】法人運営の2病院とも、地域に必要な産婦人科として、婦人科全般の診断と治療、子宮がん検診を行なっています。</p> <p>現状では、分娩の再開は条件整備のハードルが高く、広域的な連携体制の中で、妊娠32週までの妊婦検診に対応します。</p> <table border="1"> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>前年度</td> <td>24年度</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>2,748</td> <td>2,597</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>84</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>前年度</td> <td>24年度</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>898</td> <td>603</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>62</td> <td>64</td> </tr> </table>	府中市民病院	前年度	24年度	外来患者数	2,748	2,597	子宮がん検診	84	431	府中北市民病院	前年度	24年度	外来患者数	898	603	子宮がん検診	62	64	3	3	個々の病院で体制を整備することは厳しい状況にあることは理解できるが、子育て世代が安心して子育てしながら仕事ができるよう、小児救急医療及び分娩の再開に向けて、引き続き努力されたい。
		府中市民病院	前年度	24年度																			
外来患者数	2,748	2,597																					
子宮がん検診	84	431																					
府中北市民病院	前年度	24年度																					
外来患者数	898	603																					
子宮がん検診	62	64																					

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 地域医療連携の推進

(1) 地域医療連携室の充実と「在宅支援システム」の試行

<p>中期目標</p>	<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れた活動を行うこと。 加えて、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、高齢者と介護者を一緒に見守る公的サービスを提供しようとする「在宅支援システム」構想の実現にむけて、市とともに取り組むこと。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築を視野に入れ、高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室が中心的な役割を果たします。</p> <p>在宅支援システムとは、平成19年度の「広島県地域ケア体制整備構想」において府中市が策定したモデルプランで、在宅医療の提供と、高齢者と介護者を一緒に見守る公的なサービスを提供するものです。</p>	<p>・地域の診療所や訪問看護ステーションと連携し、将来的な地域見守り体制の構築に取り組めます。</p> <p>・高齢者が住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活できるよう、市の「在宅支援システム」構想の実現にむけて、病院の地域医療連携室の充実を図ります。</p>	<p>【法人】市の第1回地域医療シンポジウムで、多田理事長が「府中市病院機構の使命」と題して、医療と介護の連携について発表しました。具体的事業について関係機関と協議を継続しています。</p> <p>【府中北】上下地域の医療機関・施設の職員による地域ケア会議を月1回開催しています。</p> <p>【法人】地域医療連携室の充実について、関係機関と協議を開始しました。「在宅支援システム」のツールとなるICT利用について、市と法人の職員が、長崎「あじさいネット」を視察し、府中地区医師会へ報告しました。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(1) 臨床研修体制の充実

中期目標	府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。	・広島大学及び岡山大学の両医育機関の協力をいただきながら、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築に努力します。	<p>【府中】府中地域で病院を運営する府中市病院機構と社会医療法人陽正会が共同して、岡山医師研修支援機構が開催した「岡山マッチングプラザ2012」に「地域医療病院コンソーシアム府中」として出展しました。</p> <p>しかし、府中地域の病院との連携による、病院群としての臨床研修体制の構築には至っていません。</p> <p>【府中北】府中北市民病院は、広島大学病院の協力型臨床研修病院として、研修医・学生の受け入れを行いました。</p> <p>(実績 研修医3名・学生2名)</p>	2	2	地域医療に係る臨床研修体制の整備が医師確保につながることもあるので、期待する。

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

4 医師及び医療従事者の確保

(2) 看護系大学などとの連携

中期目標	看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。	・看護系大学など医療従事者を養成する教育機関との連携を図り、看護師及び医療技術者の確保に努めます。	<p>【府中】府中地区医師会准看護学院の准看護師養成のための実習施設となっており、実習生の受け入れや学院への講師派遣をしています。</p> <p>また、訪問看護ステーションあゆみでは、福山平成大学、広島県立大学、広島県厚生連尾道看護専門学校、府中地区医師会准看護学院の実習生を受け入れています。</p>	3	3	

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置					
5 地域住民とともに守る病院づくり					
(1) 患者の利便性と院内環境の快適性の向上					
中期目標	<p>患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めること。</p> <p>また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めること。</p>				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>地域住民に信頼される病院づくりを目指して、患者サービスの向上を図るため、患者の待ち時間の短縮等、利便性の向上に努めます。</p> <p>また、患者や来院者に、より快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設改良に努めます。</p>	<p>・待ち時間の短縮、利便性など患者サービスの向上に努めます。</p> <p>・快適な院内環境を提供するため、適切な施設管理や保全を図るとともに、患者のプライバシー保護に配慮した施設づくりに努めます。</p>	<p>【府中】内科外来患者の診察前のバイタルサインチェック、体重測定により待ち時間を短縮。毎朝1時間、通院患者へのあいさつと介助を始めました。</p> <p>【府中北】外来掲示板に、インフルエンザ予防など、その時期に合った情報提供を行いました。</p> <p>【府中】毎月、院長による各病棟回診、院内巡視を開始。総看護師長、事務長が同行し、患者要望や院内環境を把握、今年度は、未設置となっていた防火設備を追加設置しました。</p> <p>【府中北】各階にご意見箱を設置し、サービス向上委員会で内容を協議し、改善を図りました。</p>	3	3	

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(2) 医療安全対策の徹底

中期目標	院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底すること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
院内感染防止策を確実に実施するとともに、医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染防止策を確実に実施します。 ・医療事故などに関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策を徹底します。 	<p>【府中】【府中北】毎月、院内感染対策委員会を開催し、感染症情報を院内全体で共有、また定期的に研修会を開催しました。</p> <p>【府中】【府中北】毎月、医療安全対策委員会を開催し、院内全体でインシデント・アクシデント報告の内容と、その対応策及び再発防止策を確認しました。また、医療安全情報、医薬品情報、医療機器等の医療安全情報を共有、定期的に研修会を開催しました。</p>	3	3	

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

5 地域住民とともに守る病院づくり

(3) 市民への積極的な情報提供

中期目標	病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
病院運営に関して、地域住民の理解が得られるよう病院のホームページや広報紙等により積極的な情報発信を行い、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。	<p>・病院運営に関して、地域住民に積極的な情報発信を行います。</p> <p>・病院のホームページや広報紙等により、地域住民や患者に愛され、支えられ、そして選ばれる病院づくりに努めます。</p> <p>広報誌の目標発刊数</p> <p>【府中】 4回 【府中北】 2回</p>	<p>【法人】 市の健康&福祉まつりに、法人として初めて参加し、2病院の看護師による健康相談を実施しました。</p> <p>【府中】 看護の日のイベントとして、病院内と市内のスーパー前で、健康相談を実施しました。病院の地元町内会の夏祭りに、初めて参加しました。</p> <p>【府中北】 上下ひなまつりに病院として出店し、血圧測定や健康相談、ゲームなどで地域との交流を図りました。</p> <p>【法人】 市の広報に、毎月、2病院の常勤医師と職員の紹介記事を掲載しましたが、病院のホームページでの情報発信は十分にできませんでした。</p> <p>広報誌の発刊数</p> <p>【府中】 2回</p>	2	2	

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織・機構の整備

中期目標	府中・上下両地域の病院機能を守るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現すること。また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ること。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
<p>病院事業の継続性、確実性を確保し、併せて病院自身の経営企画機能を強化するとともに、職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材などを適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制を実現します。</p> <p>また、すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土を醸成し、もって業務の改善及び効率化を図ります。</p>	<p>・病院事業の継続性、確実性を確保し、病院自身の経営企画機能を強化します。</p> <p>・職員の業務遂行力の向上を図るため、限られた人材を適切なバランスで配置し、効果的・効率的な組織体制づくりに着手します。</p> <p>・すべての職員が病院の経営状況や課題を共有するなど、自主的に運営を行う組織風土の醸成を図ります。</p>	<p>【法人】法人設立の初年度のため、理事会を毎月定例で開催し、収益の目標達成状況を報告しました。</p> <p>【府中】院長、副院長（2名）、総看護師長、事務長による経営戦略会議を立ち上げ、毎週定例で開催しました。</p> <p>【法人】府中市民病院は、厚生連の出身職員から法人職員への移行期であり、2病院間での職員異動は、一部の部署のみになりました。</p> <p>【府中】【府中北】毎月の幹部会議で、経営状況の共有を図りました。</p> <p>【府中】各部署の積極的な取組みを発表する「元気が出る KAIZEN 発表会」を開催しました。</p>	3	3	<p>経営戦略会議の立ち上げなど、組織の整備に取り組んでいることは評価できる。</p>

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 職員教育体制の充実

中期目標	全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備すること。																						
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																			
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																		
全職員への教育、キャリアアップを支援し、その効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みを整備します。	<p>・全職員への教育、キャリアアップを支援します。</p> <p>・教育効果が各職員や組織内に定着し、生かされる仕組みづくりに取り組みます。</p>	<p>【法人】全職員の学会、研修会、発表会等への参加を支援しました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>府中 市民病院</th> <th>府中北 市民病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>21</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>95</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>92</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計（延人数）</td> <td>223</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table> <p>【府中】緩和ケア認定看護師の資格取得のため、看護師1名を6ヶ月間の研修に参加させました。</p> <p>【府中】看護部に、教育担当師長を専任で配置し、院内での研修・発表会を企画しました。</p> <p>【府中北】広島県の「チームケア推進モデル事業」を実施し、市の多職種連携推進研修会で発表しました。</p>	区分	府中 市民病院	府中北 市民病院	医師	21	10	看護師	95	57	医療技術	92	20	事務	15	17	合計（延人数）	223	104	3	3	<p>研修受講によるスキルアップの支援等が、職員の離職防止、並びに業務運営の改善及び効率化等にも有効である。</p>
区分	府中 市民病院	府中北 市民病院																					
医師	21	10																					
看護師	95	57																					
医療技術	92	20																					
事務	15	17																					
合計（延人数）	223	104																					

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

3 事務職員の育成

中期目標	医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成すること。																									
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価																						
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント																					
医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	・医療保険制度や診療報酬制度など病院特有の医事、経理及び財務などに精通する事務職員を育成します。	<p>【法人】事務職員については、法人採用の病院職員へ移行中ですが、現在、市からの派遣職員は、各業務の中心的な事務を担っているため、今後は特に計画的な採用・育成が必要になります。</p> <p>※事務職員の内訳（総務・人事・医事）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">職員区分</th> <th>H24.4</th> <th>H25.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市府中 民病 院</td> <td>法人</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>厚生連</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">市府中 民病 院北</td> <td>法人</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>府中市</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	職員区分		H24.4	H25.4	市府中 民病 院	法人	4	6	府中市	4	3	厚生連	3	0	市府中 民病 院北	法人	1	1	府中市	5	4	3	3	
職員区分		H24.4	H25.4																							
市府中 民病 院	法人	4	6																							
	府中市	4	3																							
	厚生連	3	0																							
市府中 民病 院北	法人	1	1																							
	府中市	5	4																							

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

4 働きやすい職場環境の整備

中期目標		職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めること。			
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。	・職員が働きがいのある病院になるよう、個々人の努力が評価され、報われる人事給与制度の整備に努めます。	【法人】法人スタート時の人事給与制度に変更はありません。	2	2	人事給与制度の整備に加え、他のインセンティブを含めた環境整備も検討されたい。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 経営基盤の強化

<p>中期目標</p>	<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ること。 また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討すること。</p>										
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>							
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>						
<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>不採算医療など政策的に必要な医療の経費については、市の財政支援を有効に活用し、経営基盤の安定を図ります。また、利用の低調な施設、設備については、経費の軽減を図るため、新たな活用策を検討します。</p> <p>経営基盤の強化を図ることで、地方独立行政法人として自立した経営基盤を確立し、中期目標期間の最終年度には、経常収支比率 100 パーセント以上の達成を目指します。</p>	<p>【法人】法人の経営成績は、2 病院の合計で 43,489 千円の黒字決算となり、経常収支比率 101.3%でした。</p> <p>法人としても収益目標は達成しましたが、市からの繰入金 490,000 千円（当初：400,000 千円、追加：90,000 千円）により経営安定が図られたものです。</p> <p>※経営成績（繰入金を除く）</p> <table border="1" data-bbox="1086 1007 1491 1158"> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>▲154,572 千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>▲291,939 千円</td> </tr> <tr> <td>法人全体</td> <td>▲446,511 千円</td> </tr> </table>	府中市民病院	▲154,572 千円	府中北市民病院	▲291,939 千円	法人全体	▲446,511 千円	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>法人の黒字決算は市からの繰入の効果も大きく、市からの繰入に過度に頼らない強靱な経営基盤の構築が必要である。</p> <p>中でも、府中北市民病院の経営状況は厳しく、財務内容の抜本的改善への取り組みが望まれる。</p>
府中市民病院	▲154,572 千円										
府中北市民病院	▲291,939 千円										
法人全体	▲446,511 千円										

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

2 収益の確保及び費用の節減

中期目標	診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じること。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減を疎かにしないこと。				
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、人材の弾力的な配置を図るなど、収益向上に有効な対策を講じます。また、柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 診療報酬制度の改定等に的確に対応するとともに、収益向上に有効な対策を講じます。 柔軟な予算執行を行うとともに、日常業務の創意工夫に努めるなど、細やかなコストの節減に努めます。 	<p>【府中】 医事課職員を、積極的に診療報酬関連研修会に参加させ、今年度の加算・管理料等の新規申請件数は、7件でした。新たな検査として睡眠時無呼吸症候群の検査導入に伴い、必要な検査機器等を整備しました。入院患者の日常生活品を、業者によるCSセットを導入することで、病院経費の削減を図りました。備品・消耗品・修繕の依頼伝票を、各部署の管理者の確認印を必須とし、総務課への依頼ルートを1本化することにより、支出のチェック機能を強化しました。</p> <p>【府中北】 市立病院時代から経費削減を実施しているため、CSセットも既に導入しており、今年度の新たな取組みはありませんでした。</p>	3	3	

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

1 病院の建て替えへの対応

<p>中期目標</p>	<p>府中総合病院については、建て替えの計画が存在している。この病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約に協力すること。</p>				
<p>中期計画</p>	<p>年度計画</p>	<p>法人の自己評価</p>		<p>評価委員会の評価</p>	
		<p>評価の判断理由（実施状況等）</p>	<p>評価</p>	<p>評価</p>	<p>評価委員会のコメント</p>
<p>府中市民病院については、建て替えを行います。病院機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約を行います。</p> <p>病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府中市民病院の建て替えにむけて、新病院の設計に着手します。 ・病院の機能については、新たな地域医療の推進役に相応しい適切なものとなるよう、関係者との協議や意見集約を行います。 ・病院事業における投資については、地域における医療資源を的確に把握したうえで、重複投資を避けるなど、その投資効果を十分検討し、将来の法人経営の支障とならないよう留意します。 	<p>【法人】市が発注した新病院の設計業務に、市と病院が共同して着手し、今年度は基本設計に取り組みました。</p> <p>【法人】新病院の機能として、医療と介護が一体となったサービスの提供に向けて、関係機関と協議しています。</p> <p>【法人】新病院への医療機器等の投資については、現在の機器等の耐用年数等を考慮し、継続使用・更新・新規導入を検討しています。今後、投資経費を積算した上で、将来的な財政推計を行い、法人経営の支障とならないよう留意します。</p> <p>また、地域における医療資源と重複投資にならないように努めます。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

2 医療機器などの更新

中期目標	医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施すること。										
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価							
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント						
<p>医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p>	<p>・医療機器の更新や施設の改修については、医療需要、費用対効果及び医療技術の進展などを考慮のうえ、中長期的かつ総合的な判断によって、計画的に実施します。</p> <p>・本年度の投資的経費は、146,000千円を目標額とします。</p>	<p>【法人】医療機器の更新や施設の改修については、各病院の医療機器整備委員会等で優先順位を検討し、法人理事会で購入機器を最終決定しました。</p> <p>決定にあたっては、法人の中期計画に基づき総合的な判断を行いました。</p> <p>本年度の投資的経費は、132,706千円で、目標限度額の範囲内としました。</p> <table border="1" data-bbox="1086 1058 1489 1206"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>投資額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府中市民病院</td> <td>101,103千円</td> </tr> <tr> <td>府中北市民病院</td> <td>31,603千円</td> </tr> </tbody> </table>	内訳	投資額	府中市民病院	101,103千円	府中北市民病院	31,603千円	3	3	
内訳	投資額										
府中市民病院	101,103千円										
府中北市民病院	31,603千円										

第5 予算、収支計画及び資金計画（平成24年度）

※ 財務諸表及び決算報告書を参照

第6 短期借入金の限度額					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	① 限度額 300 百万円 ② 想定される短期借入金の発生事由 ・賞与の支給等による一時的な資金不足への対応 ・予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等、偶発的な出費への対応	該当なし	3	3	

第7 剰余金の使途					
中期計画	年度計画	法人の自己評価		評価委員会の評価	
		評価の判断理由（実施状況等）	評価	評価	評価委員会のコメント
決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てる。	・決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、教育・研修体制の充実、将来の資金需要に対応するための預金等に充てます。	平成 24 年度決算によって生じた剰余金については、全て積み立てました。	3	3	